【 検査 】**482 非特異的 I g E と特異的 I g E（アトピー性皮膚炎等）の併算定について**

《令和7年3月31日》

○ 取扱い

次の傷病名の確定診断後に対するD015「11」非特異的 I g E 半定量又は非特異的 I g E 定量と「13」特異的 I g E 半定量・定量の同一日の併算定は、原則として認められる。

- (1) アトピー性皮膚炎
- (2) 気管支喘息
- (3) アレルギー性鼻炎
- (4) 食物アレルギー

○ 取扱いを作成した根拠等

I g E は、I 型（即時型）アレルギーに関与する免疫グロブリンである。非特異的 I g E は I 型アレルギー疾患で高値になるため、I 型アレルギー疾患のスクリーニング検査として有用である。特異的 I g E は特定アレルゲンに対する I g E 抗体を個別に同定するものである。上記(1)から(4)の傷病名は、I 型アレルギーの関与する疾患であり、診断確定後は非特異的 I g E 検査によりその関与の程度を、また、特異的 I g E 検査によりアレルゲンの同定を速やかに実施する必要があるため、双方の同一日の併算定は妥当と考える。

以上のことから、上記傷病名の確定診断後に対するD015「11」非特異的 I g E 半定量又は非特異的 I g E 定量と「13」特異的 I g E 半定量・定量の同一日の併算定は、原則として認められると判断した。